

中国・四国における MSM に対する検査提供と介入の効果評価

研究分担者：和田秀穂（川崎医科大学血液内科学 教授）

研究協力者：高田清式（愛媛大学医学部）、

新山賢（HaaT えひめ/BRIDGE プロジェクト）

研究要旨

総数 302 セットを配布した。事前のアンケートに回答した人は 333 名であった。実際に検体を郵送会社に郵送したものは 208 名であった。郵送検査利用者のうち、97.1%が結果サイトにログインしていた。HIV 陽性件数は 5 件（推定新規陽性率 2.4%）、梅毒の陽性件数は 31 件（既往歴も含む）（推定新規陽性率 8.7%）であった。郵送検査利用者の属性は、WEB 配布かつ ID 連結の同意を得た 115 名においては、30 歳未満が 37.4%を占めた。中国・四国地域の居住者が 92.2%、近畿地域が 5.2%、九州地域が 2.6%であった。これまでの検査経験がなかったものの割合は 33.9%であった。過去 1 年の検査経験がなかったものは全体のうち 64.3%であった。MSM 対象の予防啓発やコミュニティセンターのことをあまり知らない人・全く知らない人の割合は 60.0%であった。

コミュニティセンターのない中国・四国地域では他地域と比べ人間的な面で脆弱であり WEB での広報と配布を継続している。WEB 広報では対象となる地域以外に拡散することもあり、周囲の近畿地域、九州地域からの利用もあったが、最終年度には 9 割程度が対象となる中四国地域の居住者の利用であり、各地域で連動して予防啓発に取り組むことの重要性を示唆していると思われる。

中国四国地域では、クリニックでの検査機会も継続されており、MSM コミュニティでの生涯の HIV 抗体検査受検割合は他地域より低い割合で推移していることが報告されている。コミュニティセンターがないため安定的な活動が難しい現状があるが、本研究で実施している郵送検査キット配布の取り組みの利用者では、これまでの受検経験のない人の割合が 34%と他地域より高く、検査受検が必要な層に訴求している可能性を示唆している。

A.研究目的と背景

地方都市で、地域性に配慮した形で公的機関以外の医療機関等を活用した HIV 検査の提供体制を整備し、対面型の接触を避け

る MSM への検査促進を行う。

先行研究から、HIV 検査の選択肢を増やすことは、検査行動の促進につながるということがいわれている。保健所の HIV 検査は非常

に重要であるが、地方都市や平日に保健所に来所できないクライアントには時間の都合や距離の遠さから不便さも伴う。また令和2年2月からの新型コロナ感染症拡大に伴い、保健所での検査提供は7割以上減少となっている。この減少を埋めるためにも新たな検査機会での補完が急務となった。

そこで、中国・四国地域のMSMを対象に、自己採血のDBS検体を送付しスクリーニング検査を受ける郵送検査をコミュニティセンターでの配布とWEBにて配布を行った。MSMが利用しやすいHIV・梅毒の検査の選択肢を増やし、期間を限定して配布し、検査普及における有効性の評価を行うことを目的とした。

B.研究方法

中国・四国地域にはMSM対象の予防啓発を主体としたコミュニティセンターがないため、WEBによる広報と申し込み受け付けを設置し、自宅等に郵送した。

広報はTwitterで行った。ゲイアプリでのバナー広告（ロケーション広告）も行った。また今回はWEBサイト（<http://sh-check.net/yuusou/>）も新設した。

メッセージとして、「中四国地方在住のゲイ・バイ男性を対象とした郵送検査キットの無料配布中です。検査項目はHIVと梅毒。キットはWEBアンケートへの回答でゲットできます。自宅などで、郵送検査で健康チェック！」とし、検査キットの使用方法は動画で確認するよう促した。

ゲイ向けアプリケーションでのバナー広報開始4日目で予定配布数まで残り僅かにまで達したため広報を停止。予定していた広報予算を検査キット購入に振り分け、10

セットを追加し再度コミュニティペーパーとSNSを中心に広報を開始した。

倫理審査

本研究は名古屋市立大学看護学部研究倫理審査委員会に設置された倫理審査委員会、川崎医科大学に設置された倫理審査委員会により承認を得た。

C.研究結果

1) 検査キットの配布日・配布件数

8月1日から10月31日までの期間に広報を行い、特に10月1日から10月14日にはWEBバナーなどで広報を強化した。

2) 検体の送付状況とアンケートの結果

総数302セットを配布した。事前のアンケートに回答した人は333名であった。実際に検体を郵送会社に郵送したものは208名であった。郵送検査利用者のうち、97.1%が結果サイトにログインしていた。HIV陽性件数は5件（推定新規陽性率2.4%）、梅毒の陽性件数は31件（既往歴も含む）（推定新規陽性率8.7%）であった。

郵送検査利用者の属性については、WEB配布かつID連結の同意を得た115名においては、30歳未満が37.4%を占めた。中国・四国地域の居住者が92.2%、近畿地域が5.2%、九州地域が2.6%であった。

これまでの検査経験がなかったものの割合は33.9%であった。過去1年の検査経験がなかったものは全体のうち64.3%であった。MSM対象の予防啓発やコミュニティセンターのことをあまり知らない人・全く知らない人の割合は60.0%であった。

表 1 郵送検査利用者の概要

	地域	中国・四国
	CBO	HaaTスひめ /BRIDGE
	コミュニティセンター	-
a 配布数		302
対面配布数		
WEB配布数		302
b 受検者アンケート回答者数		333
c 利用者数；郵送検査会社での受付数		208
対面配布数(c対面/a対面)		
WEB配布数(cWEB/aWEB)		208 (68.9%)
利用率計；配布数に占める利用者数(c/a)		68.9%
d 結果確認者数；結果画面のログイン記録 (割合 d/c)		202 (97.1%)
抗体検査結果		*重複感染 (2名)
<input type="checkbox"/> HIV感染症		
e 判定不能者数 (割合 e/c)		1 (0.5%)
f 陽性数 (割合 f/c)		5 (2.4%)
推定 新規陽性者数 (新規陽性率) *		5.0 (2.4%)
<input type="checkbox"/> 梅毒		
g 判定不能者数 (割合 g/c)		6 (2.9%)
h 陽性数 (割合 h/c)		31 (15.3%)
推定 新規陽性者数 (新規陽性率) *		17.6 (8.7%)
i 追跡可能者数；無料ID使用者数 (割合 i/c)		115 (55.3%)
j 事後アンケート回答者数 (割合 j/c)		129 (62.0%)
k 追跡可能な事後アンケート回答者数 (割合 k/c)		79 (38.0%)

* 新規陽性者の推定は、j)追跡可能者数における既往を除く陽性率をもとに新規陽性率を算出し、(利用者数-判定不能者数)に乗じて求めた。

** すべての集計より再受検の重複は除いた。

3) 実施しての振り返り

WEB 配布では昨年度よりも需要増を見越して 310 セット配布予定数を増やし、配布を終了した。受け取りが好調であり、その様子も鑑み配布数を増やすよう調整した。コロナ禍のなか保健所検査が大幅減となっているが受検ニーズは一定あることが予想できる。コロナ禍の中で受けやすい検査環境を整えていくことが求められていると考える。

D.考察

コミュニティセンターのない中国・四国地域では他地域と比べ人間的な面で脆弱であり、WEB での広報と配布を継続している。WEB 広報では対象となる地域以外に拡散することもあり、周囲の近畿地域、九州地域からの利用もあったが、最終年度には 9 割

程度が対象となる中四国地域の居住者の利用であり、各地域で連動して予防啓発に取り組むことの重要性を示唆していると思われる。

中国四国地域では、クリニックでの検査機会も継続されており、MSM コミュニティでの生涯の HIV 抗体検査受検割合は他地域より低い割合で推移していることが報告されている。コミュニティセンターがないため安定的な活動が難しい現状があるが、本研究で実施している郵送検査キット配布の取り組みの利用者では、これまでの受検経験のない人の割合が 34%と他地域より高く、検査受検が必要な層に訴求している可能性を示唆している。

E.結論

中四国地域で、ゆうそう検査キットの配布を実施した。情報提供の準備を行い、クリニック検査と並行しつつ、ゆうそう検査キットの配布を実施した。

F.研究発表

1.論文発表

- 1) Nakagiri I, Tasaka T, Okai M, Nakai F, Bunya R, Nagai S, Yoshida T, Tokunaga H, Kondo E, Wada H. : Screening for human immunodeficiency virus using a newly developed fourth generation lateral flow immunochromatography assay. J. Virol. Methods. 274 :113746, 2019.
- 2) 和田秀穂：日常診療に必要な HIV 感染症の知識. 高知県医師会雑誌 25(1): 59-67, 2020.

- 3) 松下修三, 村上正巳, 天野景裕, 今村 顕史, 加藤眞吾, 川畑拓也, 貞升健志, 立川夏夫, 塚田訓久, 東條尚子, 長島 真美, 福武勝幸, 松岡佐織, 吉村和久, 和田 秀穂, 日本エイズ学会, 日本臨床検査医学会, 「診療における HIV-1/2 感染症の診断ガイドライン 2020」ワーキンググループ.
- 4) 診療における HIV-1/2 感染症の診断ガイドライン 2020 版(日本エイズ学会・日本臨床検査医学会標準推奨法) 日本エイズ学会誌 23(1): 39-43, 2021.

2.学会発表 (国内)

- 1) 白井麻子, 中尾綾, 西田拓洋, 吉川由香, 海面敬, 吉武亜紀, 赤松祐美, 池谷千恵, 中村 美保, 川田通子, 佐藤譲, 武内世生, 窪田良次, 尾崎修治, 和田秀穂, 千酌浩樹, 山下光, 山之内純, 高田清式. 第 34 回日本エイズ学会学術集会・総会. 中国四国地方における HIV 関連神経認知障害に関する研究 中間報告. 日本エイズ学会誌 22(4): 487, 2020.
- 2) 飯塚暁子, 藤原千尋, 山崎由佳, 門田悦子, 松井綾香, 野村直幸, 木梨貴博, 齊藤誠司, 坂田達朗, 和田秀穂. 第 34 回日本エイズ学会学術集会・総会. 医療ソーシャルワーカーを対象とした HIV/AIDS 啓発教育の効果に関する検討 HIV/AIDS に関する講義の聴講前後のアンケート調査を通して. 日本エイズ学会誌 22(4): 478, 2020.
- 3) 近藤陽介, 福田寛文, 安井晴之進, 近藤英生, 和田秀穂. 第 82 回日本血液学会学術集会. HIV 治療中に慢性骨髄性白血病および食道がんを発症した 1 例. 臨床血液 61(10): 1539, 2020.
- 4) 西田拓洋, 中尾綾, 白井麻子, 吉川由香, 海面敬, 赤松祐美, 谷英俊, 池谷千恵, 中村美保, 川田通子, 武内世生, 佐藤穰, 窪田良次, 尾崎修治, 和田秀穂, 千酌浩樹, 河邊憲太郎, 山之内純, 高田清式. 第 35 回日本エイズ学会学術集会・総会. 中国四国地方における HIV 関連神経認知障害に関する研究 中間報告(2). 日本エイズ学会誌 23(4): 479, 2021.
- 5) 和田秀穂. 第 11 回日本性感染症学会中国四国支部総会. 行政, CBO, 医療機関が協働した HIV・梅毒検査受検勧奨の成果～岡山を中心としたせとうち地域での試み～. 岡山. 2021 年 1 月 16 日
- 6) 和田秀穂. 第 34 回日本性感染症学会学術集会. 共催セミナー. コロナ禍でも見逃さない! HIV 感染症早期診断のコツ. WEB 開催. 2021 年 11 月 28 日
- 7) 和田秀穂. 第 12 回日本性感染症学会中国四国支部総会. コロナ禍でも HIV 感染症を早期発見するための診療上の工夫. 2022 年 1 月 15 日

G.知的財産権の出願・登録状況

(予定を含む)

- | | |
|----------|----|
| 1.特許取得 | なし |
| 2.実用新案登録 | なし |
| 3.その他 | なし |

表3 郵送検査キット配布方法とIDの利用状況別 利用者概要

	アンケート		ID使用		ID不使用		合計	Pearson カイ2乗
	回答のみ		対面配布	WEB配布	対面配布	WEB配布		
配布CBO								
HaaTえひめ/BRIDGE (中国・四国)	218	100.0%		115 100.0%		93 100.0%	426 100.0%	
年齢階級								
29歳以下	87	39.9%		43 37.4%		38 40.9%	168 39.4%	0.64
30-39歳	69	31.7%		32 27.8%		32 34.4%	133 31.2%	
40-49歳	40	18.3%		31 27.0%		14 15.1%	85 20.0%	
50-59歳	19	8.7%		8 7.0%		7 7.5%	34 8.0%	
60歳以上	3	1.4%		1 0.9%		2 2.2%	6 1.4%	
合計	218	100.0%		115 100.0%		93 100.0%	426 100.0%	
性別								
男性	215	98.6%		115 100.0%		93 100.0%	423 99.3%	0.58
女性	1	0.5%		0 0.0%		0 0.0%	1 0.2%	
トランスジェンダー	2	0.9%		0 0.0%		0 0.0%	2 0.5%	
その他	0	0.0%		0 0.0%		0 0.0%	0 0.0%	
合計	218	100.0%		115 100.0%		93 100.0%	426 100.0%	
居住地								
北海道	0	0.0%		0 0.0%		1 2.0%	1 0.3%	<0.01
東北	0	0.0%		0 0.0%		0 0.0%	0 0.0%	
北関東	0	0.0%		0 0.0%		0 0.0%	0 0.0%	
東京	1	0.5%		0 0.0%		0 0.0%	1 0.3%	
南関東	4	1.8%		0 0.0%		0 0.0%	4 1.0%	
甲信越	0	0.0%		0 0.0%		0 0.0%	0 0.0%	
北陸	0	0.0%		0 0.0%		0 0.0%	0 0.0%	
東海	0	0.0%		0 0.0%		0 0.0%	0 0.0%	
近畿	26	11.9%		6 5.2%		10 20.0%	42 11.0%	
中国	113	51.8%		69 60.0%		25 50.0%	207 54.0%	
四国	63	28.9%		37 32.2%		12 24.0%	112 29.2%	
九州	9	4.1%		3 2.6%		0 0.0%	12 3.1%	
沖縄	2	0.9%		0 0.0%		0 0.0%	2 0.5%	
不明	0	0.0%		0 0.0%		2 4.0%	2 0.5%	
合計	218	100.0%		115 100.0%		50 100.0%	383 100.0%	
セクシュアリティ								
ゲイ (男性同性愛)	131	60.1%		81 70.4%		33 66.0%	245 64.0%	0.08
バイセクシュアル	73	33.5%		22 19.1%		13 26.0%	108 28.2%	
その他	14	6.4%		12 10.4%		4 8.0%	30 7.8%	
合計	218	100.0%		115 100.0%		50 100.0%	383 100.0%	

表4 郵送検査キット配布方法とIDの利用状況別 利用者属性

	アンケート		ID使用		ID不使用		合計	Pearson カイ2乗
	回答のみ		対面配布	WEB配布	対面配布	WEB配布		
	n=218		n=115				n=333	
国籍								
日本	204	93.6%	109	94.8%			313	94.0%
アジア	13	6.0%	5	4.3%			18	5.4%
欧米	0	0.0%	1	0.9%			1	0.3%
その他	1	0.5%	0	0.0%			1	0.3%
あなたがお住まいの地域はどのような地域ですか？（年度により質問対象を変更したため、総数と異なる）								
中心市街地	95	43.6%	43	37.4%			138	41.4%
郊外住宅地	104	47.7%	50	43.5%			154	46.2%
農村地域・漁村地域	12	5.5%	11	9.6%			23	6.9%
山間部	7	3.2%	9	7.8%			16	4.8%
離島	0	0.0%	2	1.7%			2	0.6%
居住形態								
独居	124	56.9%	64	55.7%			188	56.5%
同居	93	42.7%	51	44.3%			144	43.2%
定住先はない	1	0.5%	0	0.0%			1	0.3%
今回を除いて、これまでにHIV検査（エイズ検査）を受けたことがありますか？								
ある	133	61.0%	76	66.1%			209	62.8%
ない（今回が初めての検査）	85	39.0%	39	33.9%			124	37.2%
今回を除いて、過去1年間にHIV検査（エイズ検査）を受けたことがありますか？								
ある	74	33.9%	41	35.7%			115	34.5%
ない	144	66.1%	74	64.3%			218	65.5%
過去1年の受検場所（複数回答）								
保健所	21	9.6%	11	9.6%			32	9.6%
病院/クリニック	29	13.3%	11	9.6%			40	12.0%
郵送検査	33	15.1%	21	18.3%			54	16.2%
その他	8	3.7%	5	4.3%			13	3.9%
1年間にない	59	27.1%	35	30.4%			94	28.2%
これまでにない	85	39.0%	39	33.9%			124	37.2%
過去1年間に、各地域でNGOや予防啓発を行う団体が配布している郵送検査キットを受け取って利用したことがありますか？								
受け取っていない	201	92.2%	102	88.7%			303	91.0%
受け取ったけど、利用していない	3	1.4%	0	0.0%			3	0.9%
受け取って、利用した	14	6.4%	13	11.3%			27	8.1%
過去6か月間に、以下の施設を利用しましたか？（複数回答）								
ゲイバー	53	24.3%	33	28.7%			86	25.8%
ゲイイベント	9	4.1%	8	7.0%			17	5.1%
ゲイショップ	6	2.8%	3	2.6%			9	2.7%
有料のハッテン場	49	22.5%	20	17.4%			69	20.7%
野外のハッテン場	29	13.3%	14	12.2%			43	12.9%
いずれもない	117	53.7%	60	52.2%			177	53.2%
過去6か月間に、恋人や友達、セックスする相手をさがすために、以下のSNSや掲示板を利用しましたか？（複数回答）								
Twitter	71	32.6%	37	32.2%			108	32.4%
Instagram	16	7.3%	4	3.5%			20	6.0%
VERO	10	4.6%	7	6.1%			17	5.1%
9monsters	192	88.1%	99	86.1%			291	87.4%
Men's Net Japan	18	8.3%	13	11.3%			31	9.3%
KO-MENSTV	31	14.2%	22	19.1%			53	15.9%
その他	15	6.9%	4	3.5%			19	5.7%
いずれもない	16	7.3%	9	7.8%			25	7.5%
あなたは男性同性愛者対象の予防啓発の取り組みやコミュニティセンターを知っていますか？								
よく知っている	20	9.2%	13	11.3%			33	9.9%
少し知っている	58	26.6%	33	28.7%			91	27.3%
あまり知らない	83	38.1%	45	39.1%			128	38.4%
全く知らない	57	26.1%	24	20.9%			81	24.3%
過去6か月間に男性とセックスをしたことがありますか？								
ある	187	85.8%	98	85.2%			285	85.6%
ない	31	14.2%	17	14.8%			48	14.4%

表5 郵送検査キット配布方法とIDの利用状況別 性行動・予防行動

	アンケート		ID使用		ID不使用		合計	Pearson カイ2乗
	回答のみ		対面配布	WEB配布	対面配布	WEB配布		
	n=187		n=98				n=285	
過去6か月間に、セックスをした相手は、以下のどれにあてはまりますか？（複数回答）								
彼氏や恋人	39	20.9%	18	18.4%			57	20.0% 0.64
友達やセクフレ	132	70.6%	65	66.3%			197	69.1% 0.50
その場限りの相手	103	55.1%	60	61.2%			163	57.2% 0.38
その他	0	0.0%	0	0.0%			0	0.0%
過去6か月間に、インターネットやSNS、アプリを使って出会った人とセックスをしたことがありますか？								
ある	167	89.3%	85	86.7%			252	88.4% 0.56
ない	20	10.7%	13	13.3%			33	11.6%
過去6か月間に、ハッテン場でセックスをしたことがありますか？								
ある	61	32.6%	22	22.4%			83	29.1% 0.08
ない	126	67.4%	76	77.6%			202	70.9%
過去6か月間に、複数人（3人以上）で同時にセックスをしたことがありますか？								
ある	45	24.1%	17	17.3%			62	21.8% 0.23
ない	142	75.9%	81	82.7%			223	78.2%
過去6か月間に、相手にお金を払ってセックスをしたことがありますか？								
ある	7	3.7%	3	3.1%			10	3.5% 1.00
ない	180	96.3%	95	96.9%			275	96.5%
過去6か月間に、相手からお金をもらってセックスをしたことがありますか？								
ある	9	4.8%	0	0.0%			9	3.2% 0.03
ない	178	95.2%	98	100.0%			276	96.8%
過去6か月間に、セックスのときにドラッグ（ラッシュ、ゴメオ、MDMA、大麻、覚せい剤、脱法ドラッグ）を使用したことがありますか？								
ある	1	0.5%	1	1.0%			2	0.7% 1.00
ない	186	99.5%	97	99.0%			283	99.3%
過去6か月間のコンドーム使用状況								
非常用	161	86.1%	86	87.8%			247	86.7% 0.86
常用	26	13.9%	12	12.2%			38	13.3%

	アンケート		ID使用		ID不使用		合計	Pearson カイ2乗
	回答のみ		対面配布	WEB配布	対面配布	WEB配布		
	n=218		n=115				n=333	
「HIV感染予防のためのセックス前の服薬（PrEP,プレップ）」について知っていますか？								
とてもよく知っている	38	17.4%	31	27.0%			69	20.7% 0.04
聞いたことはある	142	65.1%	73	63.5%			215	64.6%
まったく知らない	38	17.4%	11	9.6%			49	14.7%
「HIV感染予防のためのセックス前の服薬（PrEP,プレップ）」を服薬したいと思いますか？								
服薬したくない/どちらかといえば	38	17.4%	26	22.6%			64	19.2% 0.25
服薬したい/どちらかといえば	177	81.2%	89	77.4%			266	79.9%
HIV陽性/無効	3	1.4%	0	0.0%			3	0.9%
過去6か月間に「HIV感染予防のためのセックス前の服薬（PrEP,プレップ）」を服薬したことがありますか？								
ない	201	92.2%	108	93.9%			309	92.8% 0.45
ある	14	6.4%	7	6.1%			21	6.3%
HIV陽性/無効	3	1.4%	0	0.0%			3	0.9%
これまでにかかったことがある性感染症はありますか？（複数回答）								
梅毒	22	10.1%	16	13.9%			38	11.4% 0.37
A型肝炎	2	0.9%	1	0.9%			3	0.9% 1.00
B型肝炎	11	5.0%	7	6.1%			18	5.4% 0.80
C型肝炎	1	0.5%	1	0.9%			2	0.6% 1.00
クラミジア	18	8.3%	10	8.7%			28	8.4% 1.00
尖圭コンジローマ	14	6.4%	4	3.5%			18	5.4% 0.32
淋病	10	4.6%	7	6.1%			17	5.1% 0.60
HIV感染症	3	1.4%	0	0.0%			3	0.9% 0.55
赤痢アメーバ	1	0.5%	0	0.0%			1	0.3% 1.00
毛じらみ	44	20.2%	23	20.0%			67	20.1% 1.00
性器ヘルペス	7	3.2%	2	1.7%			9	2.7% 0.72
その他	3	1.4%	0	0.0%			3	0.9% 0.55
いずれもない	130	59.6%	64	55.7%			194	58.3% 0.49

表6 郵送検査キット配布方法とIDの利用状況別 事後アンケートの結果

アンケート 回答のみ	ID使用		ID不使用		合計		Pearson カイ2乗
	対面配布	WEB配布 n=79	対面配布	WEB配布 n=50	n=129		
事後アンケート この検査キットをどこで受け取りましたか？ (R5年度)							
コミュニティセンターで		0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0.59	
デジタル・ディスペンサーで		0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%		
検査キット配布会場で		0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%		
インターネットのWEBページで		1 1.3%	2 4.0%	3 2.3%			
商業施設・ゲイ向けイベント等で		72 91.1%	46 92.0%	118 91.5%			
その他		5 6.3%	2 4.0%	7 5.4%			
無回答		1 1.3%	0 0.0%	1 0.8%			
事後アンケート 郵送検査キットをこれまでに何回利用したことがありますか？ (R5年度)							
今回がはじめて		52 65.8%	33 66.0%	85 65.9%	0.73		
何度か利用した		26 32.9%	17 34.0%	43 33.3%			
無回答		1 1.3%	0 0.0%	1 0.8%			
事後アンケート 指先からの採血は簡単でしたか？							
簡単だった		64 81.0%	38 76.0%	102 79.1%	0.66		
どちらでもない		6 7.6%	7 14.0%	13 10.1%			
難しかった		8 10.1%	4 8.0%	12 9.3%			
無回答		1 1.3%	1 2.0%	2 1.6%			
事後アンケート 今回、ゆうそう検査を使っていかがですか？理由も教えてください。(R5年度)							
とても満足している		55 69.6%	34 68.0%	89 69.0%	0.63		
まあ満足している		23 29.1%	14 28.0%	37 28.7%			
あまり満足していない		1 1.3%	1 2.0%	2 1.6%			
全く満足していない		0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%			
無回答		0 0.0%	1 2.0%	1 0.8%			
事後アンケート 仮に、今回の検査でHIV抗体検査の結果が「要確認」となった場合、あなたはどうしますか？							
保健所を利用		55 69.6%	33 66.0%	88 68.2%	0.88		
公的な検査機関を利用		8 10.1%	2 4.0%	10 7.8%	0.43		
クリニックを利用		34 43.0%	24 48.0%	58 45.0%	0.80		
何もしない		0 0.0%	1 2.0%	1 0.8%	0.43		
その他		1 1.3%	0 0.0%	1 0.8%	0.69		

参考資料：MSM ALL JAPAN.ミーティング（研究班班会議）

中四国地域MSMを対象とした 予防啓発活動

BRIDGEプロジェクト／HaaTえひめ 新山 賢

日時：3月4日（土）13:00～15:00
3月5日（日）09:30～17:00
場所：東京船場西洲ビル4-3-25 TOKYU REIT
船場ビル7階（リサーチラボ）

1

2022年度の中四国地域の状況

①コミュニティの状況

- ・2023年2月現在、コロナ禍の影響で営業に影響の出ているゲイ商業施設は確認できていない。岡山県でゲイクラブイベントが開催されるなど徐々にコロナ禍前の状況に戻ってきている印象。
- ・ゲイバーはゲイオンリー店が減りミックスバーの割合が増えてきている。
- ・岡山・香川・徳島でプライドパレードが実施された。

②検査機会の動向

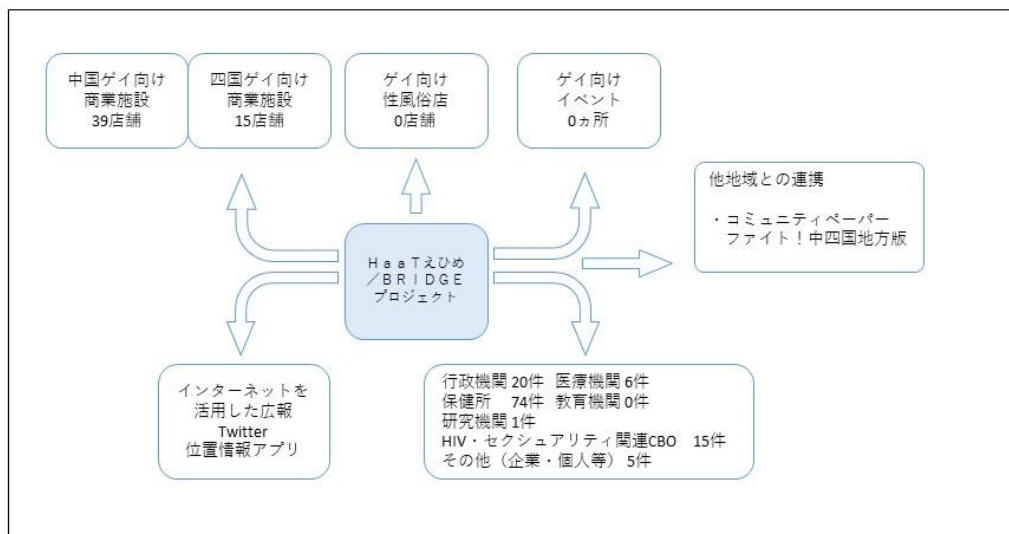
- ・中四国地方の保健所は通常通り検査を実施している。
- ・広島市（とうかさん）でのイベント検査の中止。
- ・岡山県のクリニック検査、愛媛県松山市のMSM向け保健所検査はコロナ禍の中でも実施。
- ・2020年度実施できなかった「せとうち性病クリニック検査（研究事業）」は22～23年度は実施。

地域の商業施設数と連携

2023年1月31日時点

	地域の店舗数	連携店舗数	連携率 (カバー率)	備考
ゲイバー	中国39、四国15 (計54)	中国39、四国15 (計54)	100	
有料ハッテン場	5	4	80%	
ゲイナイト	0→1	0	0	
ウリ専	2→1	1	100	
ゲイショップ	0	0	0	
サウナ・ホテル	-	-	-	-
マッサージ	7	0	0	
ゲイ雑誌	0	0	0	
スマホアプリ	1	1	100	
ウェブサイト	1	1	100	
ゲイサークル	4	0	0	
その他 ()	-	-	-	-

普及啓発活動の状況



活動・啓発資材の製作・配布



・ゲイコミュニティペーパーファイト！中四国地方版

季刊。各2,500部発行、中四国地方約50か所のゲイ商業施設やコミュニティセンター、NPO施設などで配布。

プログラムの目的・必要性：地域情報や予防啓発に関する基礎的情報を繰り返し伝える
 対象となる人や施設：中四国地方のゲイ商業施設／在住MSM
 予算：コミュニティセンター事業費
 その他の投入資源：



・セーフターセックスガイド2022年版

2,000部発行

プログラムの目的・必要性：予防啓発に関する基礎的情報を繰り返し伝える
 対象となる人や施設：中四国地方のゲイ商業施設／在住MSM
 予算：地方行政事業費（松山市）
 その他の投入資源：

ゆうそう検査の取り組み

2022年度

主に対象となる人や施設：中四国地方に在住するMSM。
 配布方法：対面を介さないWEB申込みによる配布。



工夫した内容（資料展開/WEB展開/資料・WEB展開）：ゆうそう検査キットのパッケージ製作。ゲイアプリでのバナー広告（ロケーション広告）、団体ツイッターアカウントでのツイート告知を実施。



結果：昨年度に引き続き中四国地方では対面を避け、WEB申込みによるキット配布をおこなった。今回はWEBサイトを新設（<http://sh-check.net/yuusou/>）した。ゲイ向けアプリケーションでのバナー広報開始4日目で予定配布数まで残り僅かにまで達したため広報を停止。予定していた広報予算を検査キット購入に振り分け、10セットを追加し再度コミュニティペーパーとSNSを中心に広報を開始した。

実施日時）：8月1日～10月31日（WEB広報期間：10月1日～10月14日）

配布数やアクセス数）：合計302セット

実施した反応）2020年度100セット、2021年度250セット→300セットに増やして対応。2022年度は広報開始早々に予定配布数に達しそうだったため広報手法を変えた。3カ年連続して実施したキャンペーンで、リピート利用が多かったのではないかと思います。



【実施内容】

期間: 2022年8月1日～10月31日

- ・中四国在住のMSM限定
- ・HIV・梅毒

【配布方法】

- ・WEB上で完結し誰にも会わずに受検できることを優先した。
- ・特設WEBサイト開設 (<http://sh-check.net/yuusou/>)

WEBで申し込み→自宅などに郵送→検体を自分で採血→検査会社へ郵送→WEBで結果受け取り

【広報】

- ・コミュニティペーパーの広報記事
- ・バナー広報(ゲイ男性向け出会い系アプリ)



活動・松山市保健所ゲイバイ男性限定検査会



2022年6月5日(日) 16～17時30分

2022年12月4日(日) 16～17時30分

- ・MSM限定
- ・特設WEBサイトの開設
- ・HIV/梅毒/B・C型肝炎
- ・要予約
- ・ネット予約/電話予約
- ・ゲイ情報サイトでのバナー広報

プログラムの目的・必要性: 松山市(近郊)在住のMSMを対象としたHIV検査動員
 対象となる人や施設: 松山市(近郊)在住のMSM
 予算: 地方行政事業費
 その他の投入資源: なし

活動・中四国のクリニック検査



第1弾: 2022年8月17日～9月30日

第2弾: 2023年1月4日～2月15日

・MSM限定

岡山市内3か所、倉敷市内2か所、津山市内1か所

松山市内2か所、高松市内1か所

・HIV・梅毒(結果は1週間後以降)

・予約不要

・自己負担1,000円

・広報資材(冊子製作・配布)

中四国地方のゲイ商業施設など約50施設で配布

・特設WEBサイト開設(http://sh-check.net/setouchi_cd)

・バナー広報(ゲイ男性向け出会い系アプリ・ゲイ出会い系サイト)

・Twitterプロモーション広告

プログラムの目的・必要性: 岡山県・せとうち圏在住のMSMを対象としたHIV検査動員
対象となる人や施設: 岡山県・せとうち圏在住のMSM
予算: 地方行政事業費(岡山県) / 研究費
その他の投入資源: なし

活動・中四国のLGBTムーブメント

● 同性パートナーシップ制度

導入済み 広島県広島市、三原市、三次市、廿日市市、安芸高田市、府中町、海田市

岡山県岡山市、倉敷市、笠岡市、総社市、備前市、瀬戸内市、真庭市、美作市、浅口市

鳥取県境港市

山口県宇部市

香川県高松市、丸亀市、坂出市、善通寺市、観音寺市、さぬき市、東かがわ市、三豊市、土庄町、

小豆島町、三木町、宇多津市、綾川町、琴平市、多度津町、まんのう町

徳島県徳島市、鳴門市・阿南市、吉野川市、美馬市、三好市、那賀町、北島町

高知県高知市、南国市、土佐清水市、黒潮町

導入予定: 愛媛県大洲市、今治市 島根県、徳島県



● LGBT活動団体の立ち上げ(愛媛県松山市)

LGBT当事者相談支援・居場所事業・講師派遣(団体のミッション・バリュー・ビジョンの再構築)

●レインボーパレード

- 2019年8月25日 四国地方初開催「丸亀レインボーパレード」
- 2021年11月21日 中国地方初開催「ももたろうOKAYAMA虹の祭典」
- 2022年10月16日 岡山レインボーフェスタ2022
- 2022年11月19日 まんで！さぬきレインボーパレード
- 2022年11月6日 徳島プライドパレード



11

次年度の取り組みについて

●団体の模様替えを実施

セクシュアルヘルスに関する活動を主軸に総合的なLGBTQ支援活動団体へ。
一般社団法人格の取得中。

一般社団法人カラフル ドット ライフ



<http://www.colorfuldot-life.org>

次年度の取り組みについて

- 中四国で展開しているクリニック検査の仕組みを発展させ、MSMの「セクシュアルヘルスかかりつけ医」を増やしていきたい。
- インターネットでのHIV検査広報の仕組みを作った。内容の充実やWEBサイトの広報を強化していきたい。
(中四国セクシュアルヘルスチェック: <http://sh-check.net/>)
- コンドーム常用率が中国地方14.5%、四国地方18.4%と20%を割り込んでいる。コンドームプロモーションの強化が求められている。(コンドームの在庫がない)
- 新しい感染症(M-POX)の検査・治療などの情報発信。新しい知見(TasP、U=U)やPrEPのある時代の、コンビネーション予防の必要性をコミュニティへ丁寧に伝えていくことをMSM ALL JAPANで考えたい。
- コロナ禍で大幅に減った検査数を戻していく取り組み。(保健所検査での検査勧奨やクリニック検査体制の強化)
- コロナ禍後の地域活性化(コミュニティのエンパワー)の取り組み